

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】 新規に事業を開始する中小企業は、商業エリアの家賃高騰から、住宅エリアを選択することが増えている。業界関係者は「場所や契約期間により家賃は異なるものの、現在、商業エリアの家賃は住宅エリアのおよそ倍である。また商業エリアに進出する場合には、1年間分の家賃の前払いも求められる。このことがスーパーマーケットなどの店舗展開の妨げとなっている」と述べた。</p> <p>(2) 【10日 Daily Star 紙】 エビの国内需要が増加している。業界関係者は「都市部の中間所得層の増加を受け、今後も需要は伸び続ける見込み。特にダッカ市内におけるホテルや中華レストランが主要な買い手だ」と述べた。2015年度は 35,466 トンが国内消費に回された一方、2016年度はそれが 38,563 トンに増加した。</p> <p>(3) 【11日 Daily Star 紙】 快適な移動への需要の高まりにより、高級バス (Luxury Bus) が増加している。現在、長距離バスを中心に毎日およそ 1,000 台の高級バスが運行している。これらの高級バスの多くは Volvo、Mecrcedes Benz や日野自動車などの外国製。業界関係者は「人々の所得の増加、或いは (高温多湿な) 気候がエアコン完備の高級バスへの需要を支えている」と述べた。</p> <p>(4) 【13日 Daily Star 紙】 インターネットの 4G サービスの導入に向けた周波数のオークションが、12 月までに実施される見通しが高まった。情報通信規制委員会 (Bangladesh Telecommunication Regulatory Commission : BTRC) は、オークション実施のガイドラインに関し、Hasina 首相から承認が下りたことを明らかにした。</p> <p>(5) 【14日 Financial Express 紙】 バングラデシュ最大の Mobile Finance 企業である b-kash 社が、Fortune 誌の「Change the World List」の 50 社中 33 位に位置づけられた。これはビジネスにおける社会的効果が高い企業が順位づけされるもの。今やバングラデシュの 22%の大人が b-kash のサービスを利用し、一日当たり平均 450 万件の取引が実施されている。Kamal Quaidr 社長は「Fortune 誌のリストに入り興奮している。これはバングラデシュの人々に金融サービスを提供するというゴールに向かって、全ての関係者との協力・支援の賜物だ」との声明を発表した。</p> <p>(6) 【17日 Daily Star 紙】 バングラデシュがパキスタンから独立した時、バングラデシュはパキスタンよりはるかに貧しかった。しかし直近の統計では、バングラデ</p>
-----------------------	---

	<p>シュの一人当たり GDP は 1,538 ドルとなり、1,470 ドルのパキスタン を始めて上回った。バングラデシュでは、過去数年間にわたり 6%以上 の経済成長を続けており、特に直近 2 年間は 7%以上の成長率を記録 している。</p> <p>(7) 【17日 Daily Star 紙】 2017 年 7 月 (単月) の経常収支は、1 億 7,900 万ドルの赤字を記録し た。前年同月は 4 億 8,000 億ドルの黒字であった他、7 月単月で赤字 に陥ったのは 16 年ぶり。これは輸入が前年同月比 47%増加したのに 対し、輸出は僅か 18.5%の増加に留まったことが要因。この為、貿易 赤字も、10 億ドルの大台を突破した。</p> <p>(8) 【28日 Daily Star 紙】 World Economic Forumによる Global Competitiveness Report 2017-18 において、バングラデシュは昨年よりも 7 つ順位を上げ 99 位となっ た。これはバングラデシュにとって史上最高。近隣諸国では、インド (40 位)、ブータン (85 位)、スリランカ (85 位)、ネパール (88 位) はバングラデシュより上位だったが、パキスタン (115 位) は下位だ った。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【1日 Daily Star 紙】 個人向け国債 (Saving Certificate) の販売額が増加している。2017 年 7 月は 505 億タカに達し、前年同月比で 44.45%増加した。中央銀 行関係者は「2017 年 6 月に財務大臣が、個人向け国債の利回りは他 の金融商品より高いことから、これを調整することを示唆した。この 後、駆け込み需要により個人向け国債の需要は急増した」との見方を 示した。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【8日 Daily Star 紙】 2017 年 7 月の貯蓄金利は 4.89%となり、前月の 4.84%から微増。貯 蓄金利は 2015 年 1 月から 2 年半にわたり下落を続けており、これが 下げ止まった格好。業界関係者は、「輸入増に伴い融資拡大の機運が 高まったことから、殆どの銀行は 7 月に金利を引き上げる変更を行っ た」と述べた。</p> <p>(2) 【12日 Daily Star 紙】 Agent Banking の口座数が、今年上半期 (2017 年 1 月～6 月) で 33 万口座が増加し、87 万口座となった。増加率は 60.18%を記録し、 Agent Banking が急速に広まっている。これは Agent Bank では海外 送金の引き出しが無料であることが背景。(モバイル・バンキングの 場合、2%の手数料がかかる)</p> <p>(3) 【13日 Financial Express 紙】 2017 年 6 月末時点の銀行セクターの税引き後利益は、前年同期比 33% 減の 89.6 億タカに留まった。これは、不良債権額の増加が主な要因</p>

	<p>と考えられる。実際、2017年6月末の銀行セクターの不良債権額は7,414億タカで、前年同時期よりも19%ほど増加した。</p>
投資	<p>(1) <b>【12日 Daily Star 紙】</b>  テキスタイル産業における新規投資は、ガスや大規模な工場用地の不足により、過去数年間は低迷している。過去4年間で、5つの紡績工場、3つの織布工場、2つの染色工場が新設されたのみであり、投資総額は130億タカほどであった。</p> <p>(2) <b>【15日 Daily Star 紙】</b>  現地企業のWalton社とSymphony社は、携帯電話の組み立て事業に乗り出すことを検討している。今年度、バングラデシュ政府は、携帯電話の部品輸入に関わる関税を36%から1%に大幅に減少させた。Walton社は新工場の建設に10億タカの投資を予定しており、年間500万台の生産を目指す。一方Symphony社も月間50万台の輸出を目指すとしている。2016年に3,120万台の携帯電話が輸入され、その輸入額は800億タカに達していた。</p>
貿易	<p>(1) <b>【11日 Daily Star 紙】</b>  2017年8月の月別輸出額は縫製品、冷凍食品、皮革製品などの伸びにより36.4億ドルに達した。これは単月の輸出額としては史上最高。特に輸出総額の80%を占める縫製品では、30.4億ドルに達した。業界関係者は「ここ数か月間の低迷が8月の高い輸出額に結びついた」と述べた。</p>
日本企業	<p>(1) <b>【18日 Daily Star 紙】</b>  DataSoft社は、東京でIoTにより10,000棟のスマートフォーム建設に乗り出す考えを明らかにした。昨日、同社は日本企業のSmart Life社と、節電、ガス漏れ予防、節水、室温管理、セキュリティなどを行うスマートフォーム向けIoTのシステム開発に関する合意に署名。</p> <p>(2) <b>【30日 Financial Express 紙】</b>  バングラデシュ商工会議所連合会（Federation of Bangladesh Chambers of Commerce and Industry : FBCCI）は、日本企業向けの有望セクター（Perspective Sector）を設定する。副会頭は「日本企業側とも協議を重ねてきており、数週間の内には固めたい」と述べた。</p>
社会	<p>(1) <b>【5日 Daily Star 紙】</b>  従前よりCoxs Bazar近郊の2か所の難民キャンプは、ロヒンギャ難民で埋めつくされていたが、新たに7万人近いロヒンギャ難民が、これらの難民キャンプに押し寄せている。この為、彼らは農家の庭先、丘、森林、畑、道路脇など至る所にテントを構えている。8/25以降、ミャンマーのラカイン州より9万人近いロヒンギャ族が、バングラデシュに流入したと見られている。</p> <p>(2) <b>【26日 Daily Star 紙】</b></p>

	<p>ロヒンギャ難民による政府関係者、人権活動家、開発援助関係者などの活動により、Cox' s Bazar への国内線や Cox' s Bazar のホテルの稼働率が上がっている。Cox' s Bazar は毎年、この時期は閑散期となるが、あるホテルでは例年は 40%の稼働率であったのに対し、今年は 7%近くまで稼働率が上がっている由。またダッカと Cox' s Bazar を結ぶ国内線も、例年の 80%から 90%前後まで搭乗率が上がっている。尚、8月最終週から9月24日の間に、合計43万6,000人のロヒンギャ難民が流入したと考えられている。</p>
--	--

(了)